

FMのネットワーク「三間会」の20年

2014年2月13日

三間会 会長 松成和夫
幹事長 増田幸雄

三間会とは

- ・FMに関連する人々が集い、気軽に談笑する会
- ・所属する分野、団体、老若などを問わず、全員が自由平等に交歓
- ・会長・幹事長など世話役は居るが、全員が副会長
- ・堅苦しい挨拶・乾杯などはなし、ワイガヤに徹する
- ・第1回(1994年)から年に2回開催され、40回を数える
- ・延べ参加者は、3,000名を超える(推定)
- ・メーリングリストは550名を超える
- ・会の名称は、人間が時間と空間を共有するという主旨にちなんで3つの「間」をとり、「三間会」と名付けられた
- ・会長:中津元次氏、幹事長:石井龍彦氏

三間会の目的

FMの世界を担う人々(人間)が時間と空間を共有し、意見交換とそれによる自己認識の培養、更に親交を温め、FMヒューマンネットワークをつくることを目的としています。

三間会の活動①1994年

- ・そもそもは、中津元次氏のコンサルタント独立を祝う会から始まった
- ・1994年8月3日中津エフ.エム.コンサルティングのオフィスに集合
- ・2次会は「ブラウマイスターハウス」(現在のアンリ・シャルパンテーユ)
- ・その雰囲気や和気会々として、とてもよかったので、継続することになった



中津氏のオフィスでの談笑。左から4人目が中津元次氏(1994年8月3日)

三間会の活動①1994年

・2次会は「ブラウマイスターハウス」(現在のアンリ・シャルパンテーユ)



銀座ブラウマイスターハウス(1994年8月3日)



三間会の活動①1994年(第2回)

・第2回は1994年12月9日、ここで会の名称が決まる



第2回は、銀座吉宗(1994年12月9日)で開催。前列左端の中田弘氏(故人)が三間会の名付け親

三間会の活動①1994年(第2回)

- ・第2回は1994年12月9日、ここで会の名称が決まる



第2回の風景。中央は会長中津元次氏、右は堀竹英弘氏、左端は、現会長松成和夫

三間会の活動②1997年(第7回)

・この頃から、会場は恵比寿ガーデンプレイスに定着



第7回の風景。前列の後ろ姿は、幹事長の石井龍彦氏

三間会の活動②1997年(第7回)

・この頃から、会場は恵比寿ガーデンプレイスに定着



第7回の風景。中津元次会長の挨拶。この前後で、新会員の自己紹介、会員からのメッセージを紹介

三間会の活動③1999年(第11回)

・珍しい集合写真



三間会の活動④2000年(第13回)



第二世代への継承

- ・第40回には、次世代への継承をすることになった
- ・新たに会長：松成和夫、幹事長：増田幸雄が担当することになる



2013年11月の中津事務所お別れの会での集合写真。新・旧の会長、幹事長のほか、事務局の野瀬かおり、安藤淳子、田中淳逸も集まった。

第二世代への継承

- ・日本でのFMの活動から25年以上が経過
- ・FM初期に活躍した第一世代メンバーは退場しつつある
- ・第二世代、第三世代へとFMは継承され、発展するべき

●新たな方向性の設定

- ・三間会の役割は、これまで20年間続いてきたFMのヒューマンネットワークを、現在の20代、30代、40代中心へと移行させること
- ・三間会の世話役も、第二世代に交代したばかりだが、今後、第三世代へと交代できるよう発展的継承を図る